



中央消防署 火災予防通信

火災を防ぐ！ ～意外なところに潜む火災危険～

今の時期、火災が発生する原因は暖房器具とは限りません。暖房器具の中でも、特にストーブ火災の危険性について11月増刊号でお知らせしました。みなさんから注意をさせていただいており大変ありがとうございます。まだまだ寒い日が続いていますので、引き続きストーブの取扱いには細心のご注意をお願いします。

さて、今回は意外なところに潜む火災危険についてお知らせいたします。

●電気コード 《折り曲げ、下敷きは危険です》

【事例1】 コードを束ねたまま使用していたところ発火した。

【事例2】 たこ足配線状態で一斉に電気器具を使用したため、定格容量を超えコンセントから出火した。

《対策》1 コードは束ねたまま使用しない。

2 過度なタコ足配線はしない。

3 電気コードを折り曲げない、家具などの下敷きにしない。



●着衣着火 《コンロの火や、ストーブの熱、ローソクの火などが衣類に着火します》

大やけどする場合がありますので、注意が必要です。

【事例1】 こんろの奥にある調味料を取ろうとして袖に着火した。

【事例2】 線香を取ろうとして灯明の火が袖口に着火した。

【事例3】 ストーブの前にいたところ衣類に着火した。

《対策》1 ガスこんろの火に注意し、奥には調味料等を置かない。

2 ローソクの火にも注意する。

3 ストーブに近づきすぎない。



●カセットコンロ 《いろんな場所で使用できて便利ですが、思わぬ危険が潜んでいます》

【事例1】 大型の鍋をカセットコンロで使用したところ、鍋の熱がカセットボンベを加熱し破裂した。

【事例2】 使用済みのカセットボンベを廃棄するため、屋内でガス抜きをしていた際、残留していた可燃性ガスに引火しやけどを負った。

《対策》1 ボンベのカバーまで覆う大きな鍋などは使用しない。

2 2台以上並べて使用しない。

3 カセットボンベは使い切ってから廃棄する。



《消防自動車の鐘の音「カンカン・カンカン」は火の用心のお願いです！》

中央消防署 災害情報(平成30年1月31日現在)

火災 2件(前年比 - 1件)

救急 768件(前年比 + 19件)

救助 1件(前年比 - 3件)

中央消防署

TEL 025-288-3119

FAX 025-288-3315

住所 新潟市中央区鐘木257番地1